

精密金型メーカーから“プラスチック精密成形総合システム会社”へ

不二精機株式会社
決算説明資料
証券コード6400



2014年4月30日HP公開

www.fujiseiki.com

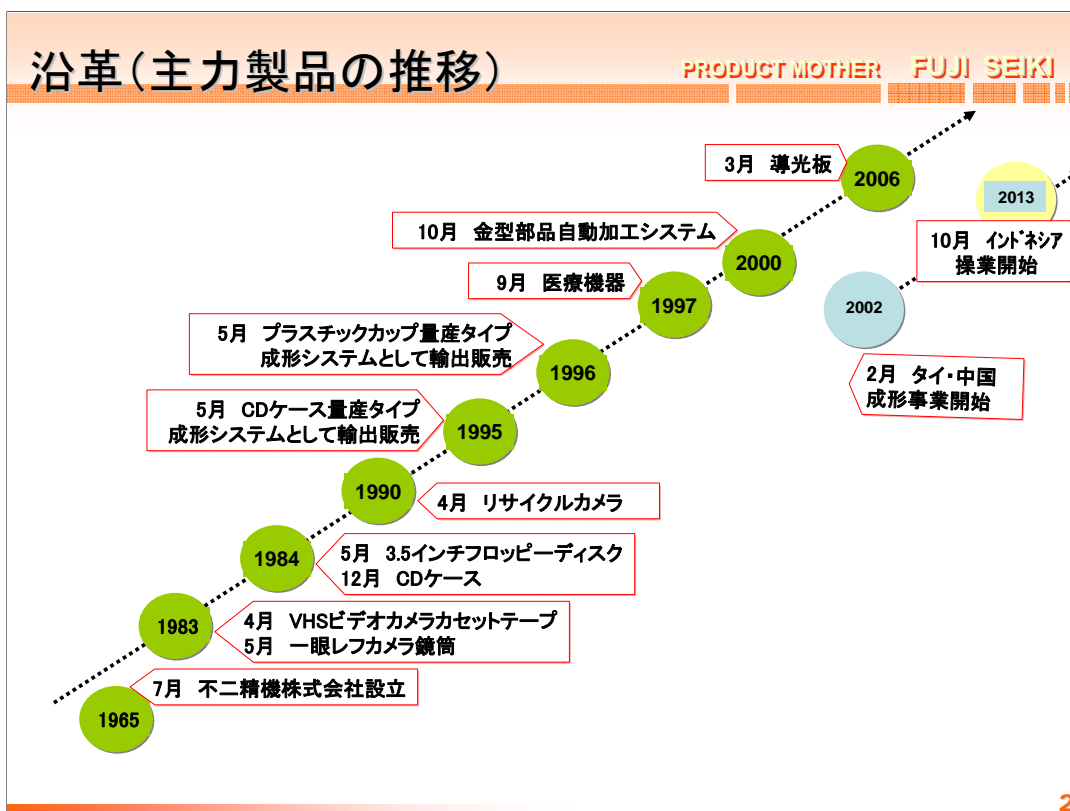
2013年12月期の決算の説明と今後の展望などをご説明いたします。

会社概要

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

1

当社の概要を紹介いたします。



当社は、1955年の創業以来、「精密金型」ひとすじに物づくりを行ってまいりました。

1984年頃からは、成形品1個当たりのコストが重視される大量生産品向けの金型が主力製品となりました。

1995年頃より、金型単体での販売だけでなく、顧客が求める成形品を生産するために必要な生産設備(金型、成形機、取出し機、自動組立機等)も併せての販売(成形システム)が主力製品となりました。

さらに、現在の金型事業においては、金型より生産される成形品そのものの精密さを求められる、デジカメ等のズーム部分である鏡筒向け及び、ノートPC等用導光板向けの精密金型ならびに成形品、大量生産品である注射器等医療機器向けの精密金型及び成形システムが主力製品となりました。

初の海外進出を果たした2001年より成形品生産を開始いたしました。2007年頃より、二輪・四輪車の主に燃料噴射装置部品等の生産を開始し、中期戦略である自動車部品の売上構成比率の拡大を着実に進めております。

また、2013年10月より不二精機インドネシアの操業を開始し、東南アジアでの二輪・四輪用成形部品の受注拡大を目指しております。

海外生産拠点

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

上海



設立：01/09
稼働開始：02/03

■ デジカメ用光学機器用などの精密成形品の製造を担当

THAI



設立：01/01
稼働開始：02/03

■ 自動車用他、精密成形品および精密金型製造を担当

蘇州



設立：02/03
稼働開始：03/10

■ 筆記具などの精密成形品製造を担当
■ 金型設計(CAD・CAM)を担当

INDONESIA



設立：12/10
稼働開始：13/10

■ 自動車用他、精密成形品および精密金型製造を担当

常州



設立：02/11
稼働開始：03/10

■ 主としてグループ内各社向けの精密金型製造を担当

3

2001年より海外展開を進め、中国・常州にコアビジネスである精密金型製造会社のほか、タイ及び中国に3拠点の成形品製造会社を稼働させております。

また、蘇州には当社グループの金型設計等(CAD・CAM)の生産性向上を図るために、設計センターを併設しております。

なお、2011年10月に発生した洪水により操業を停止したタイ不二精機は、2011年12月から移転した新工場で操業しております。

さらに、アジアでの自動車生産拠点の集中化に対応し、2012年10月に設立した不二精機インドネシアは、2013年10月より二輪・四輪部品等の成形品生産を開始しております。

2013/12月期決算の概要

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

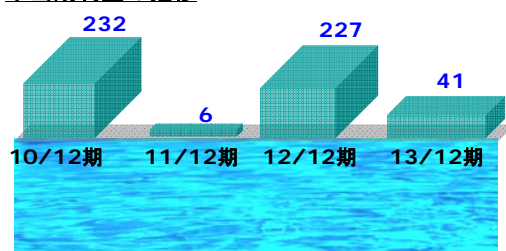
4

2013年12月期の決算の概要についてご説明いたします。

13/12月期決算の概要(連結) PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

(百万円)	12/12月期	13/12月期	増減額	増減率(%)
売上高	4,449	4,718	269	6.1
営業利益	24	11	△13	△55.3
経常利益	△42	31	73	—
当期純利益	227	41	△186	△81.6

◇当期利益の推移



・国内の金型需要が低調な状況は続くものの、タイでの自動車関連成形品の受注増などで増収を達成

・前期は、タイの洪水による受取保険金など(287百万)の特別利益が発生していたことなどにより、当期純利益は減益

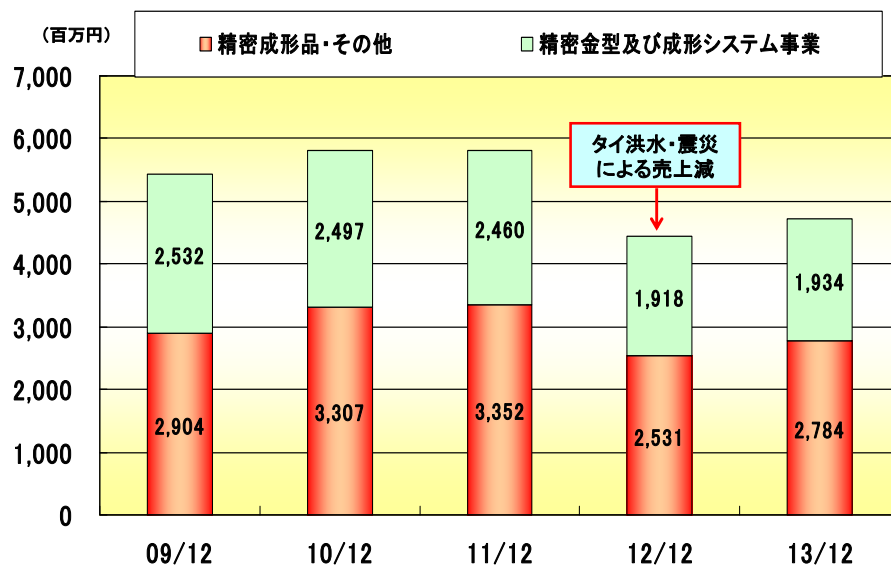
5

2013年12月期の売上高は、日本の金型関連設備需要が低調な状況が続きましたが、タイ不二精機での自動車部品用成形品の受注増加により成形事業の売上が増加したことなどで、47億18百万円(前期比6.1%増)となりました。

営業利益は、国内金型事業の不採算受注の増加及び中国子会社でのデジタルカメラ関係の売上減少に伴い利益率が低下したことにより、営業利益は11百万円(前期比55.3%減)となり、為替差益の増加により、経常利益は31百万円(前期比73百万円増)となりました。

当期純利益は、41百万円(前期比81.6%減)となりました。(前期はタイの洪水に関連した受取保険金(6億74百万円)・災害損失(3億87百万円)の特別損益を計上しておりました)

セグメント別売上高の推移(連結) PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI



6

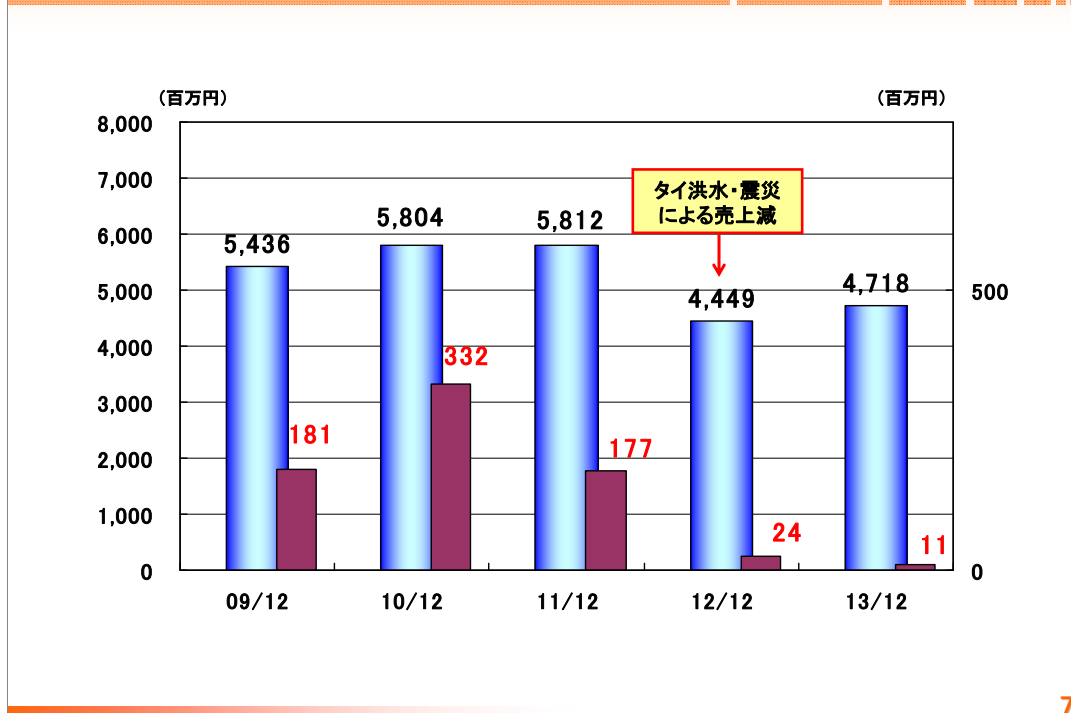
<射出成形用精密金型及び成形システム事業>

2013年12月期は医療・食品品容器用金型が増加したことなどにより、売上高は19億34百万円(前期比0.9%増)となりました。

<精密成形品その他事業>

2013年12月期は自動車部品用成形品が増加したことなどにより、売上高は27億84百万円(前期比10.0%増)となりました。

売上高と営業利益の推移(連結) PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI



2013年12月期は、タイ不二精機を中心に自動車部品の成形品売上が増加したことなどで、売上高は前期比2億69百万円増加(前期比6.1%増)しました。

金型事業での不採算受注の増加及び成形品事業でのデジタルカメラ関連の売上減少に伴う稼働率の低下により原価率が高まり、営業利益は11百万円(前期比55.3%減)となりました。

B/Sの主な増減科目(連結)

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

(百万円)	12/12月期		13/12月期		増減額	コメント(主要因)
		構成比		構成比		
流動資産	3,112	55.1	3,056	48.3	△56	
現金・預金	1,088	19.3	883	14.0	△204	借入・社債減対応
受手・売掛金	988	17.5	1,086	17.2	98	売掛金増
棚卸資産	637	11.3	667	10.6	30	
固定資産	2,523	44.7	3,125	49.4	602	イントネツ工場設備
資産合計	5,651	100.0	6,325	100.0	673	
流動負債	2,784	49.3	3,129	49.5	345	1年内長期借入増
支払手形・買掛金	549	9.7	640	10.1	91	買掛金増
固定負債	2,088	36.9	1,806	28.6	△281	長期借入金減
負債合計	4,872	86.2	4,936	78.0	64	
純資産合計	779	13.8	1,389	22.0	609	自己資本比率+8.2%
負債・純資産合計	5,651	100.0	6,325	100.0	673	

自己資本比率 22.0%へ

8

流動資産は、現金及び預金が2億4百万円減少したことなどにより、前期末比56百万円(1.8%)減少しました。

流動負債は、短期借入金(1年内返済長期借入金を含む)が1億69百万円、支払手形及び買掛金が91百万円増加したことなどにより、前期末比3億45百万円(12.4%)増加しました。

固定負債は、長期借入金が3億58百万円減少したことなどにより、前期末比2億81百万円(13.5%)減少しました。

純資産は、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ73百万円増加し、為替換算調整勘定が4億15百万円増加したため、前期末比6億9百万円(78.2%)増加して13億89百万円となりました。なお、自己資本比率は、前期末比8.2ポイント増加して22.0%となりました。

キャッシュフローの状況(連結)

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

(百万円)	12/12月期	13/12月期	増減額
営業活動によるキャッシュフロー	652	183	▲468
投資活動によるキャッシュフロー	▲618	▲426	191
財務活動によるキャッシュフロー	▲344	▲52	291
現金及び現金同等物の期末残高	1,084	881	▲202

キャッシュフローの増減要因

営業活動

主として、前期に発生したタイの洪水関連収入の減少によるものです。

投資活動

主として、有形固定資産の取得支出の減少(前期はタイの洪水関連被災設備の再取得実施)によるものです。

財務活動

主として、増資による収入、長期借入金の返済支出によるものです。

9

営業キャッシュフローの減少は、主として前期に発生したタイの洪水に関連する保険金収入ほか4億80百万円の減少によるものです。

当期の投資活動では、不二精機インドネシアの新工場向け設備投資を実行しております。

財務活動では、新株予約権による増資収入があり、長期借入金返済を計画的に実施しております。

基本事業戦略

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

10

基本事業戦略についてご説明いたします。

◆基本戦略

将来にわたる収益確保のため
「金型専業」から「成形事業」へ
収益の柱のシフトを目指します

当社グループは、将来的に市場規模の縮小が想定される「金型事業」から、当社の金型技術がなくてはできない付加価値の高い成形品を選択した「成形事業」へ収益の柱のシフトを目指しております。

◆なぜ成形事業か

成形品は儲からない？

成形事業は、独自ノウハウの活用で
高収益事業化が可能です

“高生産性・収益性”の金型設計・製造
ノウハウを持つ不二精機グループだから
実現できる！

12

当社のコア技術である「高生産性・高収益性」の金型技術と、中国、タイ、インドネシアの各成形工場の品質及び生産管理技術を融合させることにより、成形事業を安定的な高収益事業化を進めてまいります。

◆高収益性金型のポイント

- | | | |
|----------|-----|----------|
| ①ハイサイクル化 | ・・・ | 1成形の時間 |
| ②多数個取化 | ・・・ | 1成形当りの個数 |
| ③材料低減化 | ・・・ | ランナー重量減 |
| ④歩留り向上 | ・・・ | 良品率向上 |



①「ハイサイクル」とは、成形機に搭載された金型に熔融樹脂を注入～冷却工程にて金型内の樹脂を固化(金型形状の転写)～金型を開いて成形品取出し～型閉め工程を「1サイクル」とし、この一連の工程(サイクル)を高速化させることをハイサイクル化といえます。

このハイサイクル化を実現するためには、金型の高精度化に加え、金型冷却のノウハウや成形技術ノウハウが必要となります。

②「多数個取」とは、成形機の大きさに応じて決まる金型の大きさの制約の中で可能な限り多数の製品を配置する金型技術です。

また、多数個取金型は、製品寸法のバラツキを発生させないため、高精度加工、冷却回路等、非常に難易度の高いものづくりが要求されます。

③「材料低減」ー成形機で熔融させた樹脂を金型内に射出後、金型内に掘り込まれた湯道を通り、金型内の製品掘り込み部分に転写させますが、この湯道が「ランナー」と呼ばれています。(例:プラモデルの枠の部分です)

「ランナー」は製品を成形するために必要ではあるものの、製品には必要がなく、いわば成形工程における「材料ロス」です。

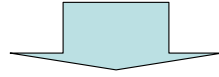
当社ではこのランナー重量(太さ・大きさ等)を、可能な限り少なくし安定した品質が実現できる金型づくりを行っております。

④良品率を向上するためには、金型の精度はもちろん、成形技術ノウハウが必要となります。

当社では、長年蓄積した金型完成後の試作データを元に、さまざまな特性を持つ樹脂成形にもそのノウハウを活かしております。

◆連結利益目標達成への課題

- ①国内金型市場の縮小への対応
(顧客の海外生産シフト)
- ②成形品事業の受注変動リスク低減
(安定稼働を目指した製品への集中)



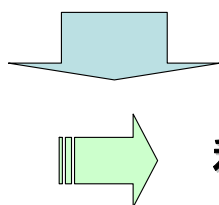
年間平均稼働率を高める

連結利益目標の達成に向けての課題は、製造業の海外生産シフトが進む日本の金型市場への対応および安定した稼働が利益に直結する成形品事業での受注変動リスクの低減であると考えております。

◆課題への対処

- ① 関東工場(金型事業)の活用
(顧客ニーズへの対応により新規受注獲得)
- ② 営業活動の重点シフト(成形品事業)
(海外の自動車関連部品の拡大へ集中)

稼働率安定



利益目標達成!

日本の金型事業においては、関東工場(2011年1月開設)をサービス拠点として活用することで、東日本地域のお客様のニーズにきめ細かくお応えすることにより新規受注の獲得に注力いたします。

また、成形品事業の稼働率安定に向け、受注の波が比較的少ない自動車関連部品(2輪・4輪)分野への集中と並行して、医療用品、食品容器などの分野の開拓に努めて参ります。

子会社を含めた生産インフラ・生産管理体制は整備されておりますので、年間の稼働率の安定により目標とする連結利益の達成を目指します。

なお、中期的な受注拡大に向けて、自動車市場の拡大が続くインドネシアに自動車関連部品を中心とした製造子会社を2012年に設立し、2013年10月より操業を開始しております。

2014/12月期事業計画

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

16

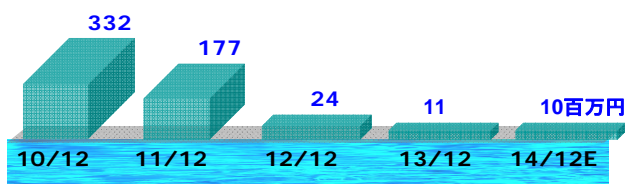
今期の事業計画をご説明いたします。

14/12月期通期計画(連結)

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

(百万円)	13/12月期	14/12月期計画	増減額	増減率%
売上高	4,718	5,030	312	6.6
売上総利益	817	878	61	7.5
販管費	806	868	62	7.7
営業利益	11	10	▲1	▲9.1
経常利益	31	▲94	▲125	—
当期純利益	41	▲45	▲86	—
設備投資	676	157	▲519	▲76.8
減価償却費	272	325	53	19.5

営業利益の推移



<営業利益計画のポイント>

◆インドネシア創業赤字吸収
(当期は大幅な営業赤字想定)

*コスト構造の改革

- ①内製化 → 外注費削減
- ②自動化 → 人件費抑制

営業利益計画達成へ

17

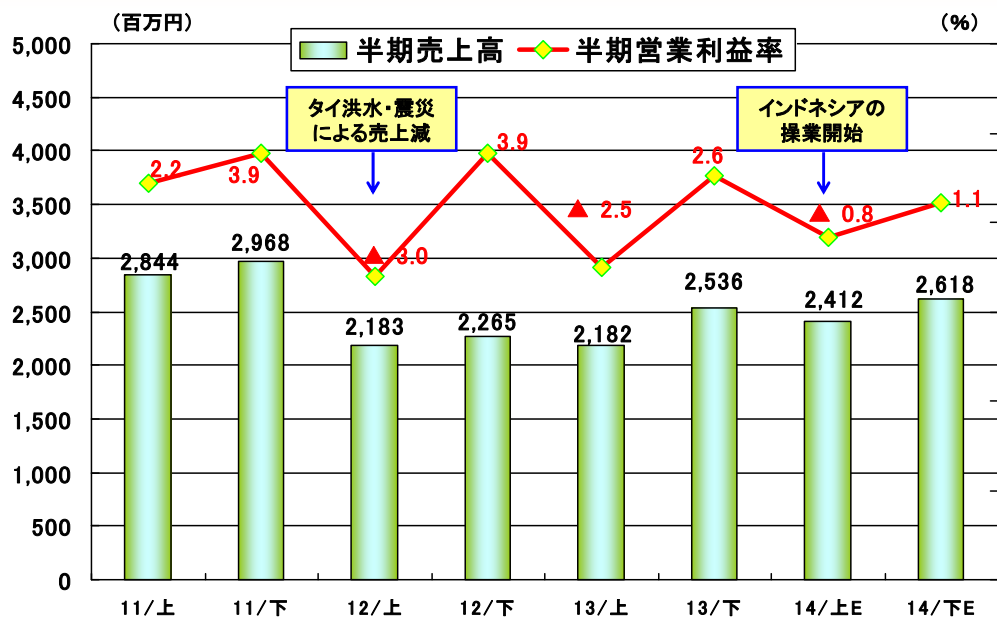
2014年12月期の売上高は、中国での医療用品関連の金型需要の拡大および、不二精機インドネシアの操業開始による自動車部品用成形品の受注増加を見込み増収を計画しております。

営業利益は、外注加工の内製化、自動化/半自動化による人件費抑制を中心としたコスト構造の改革を確実に実施することにより、不二精機インドネシアの大幅な創業赤字を吸収し、10百万円の黒字計画達成を目指します。

不二精機インドネシアの創業赤字・開業費償却および支払利息を織り込み、94百万円の経常損失、洪水被害により遊休状態であったタイ不二精機のアユタヤ工場の売却益40百万円を特別利益に計上し、45百万円の当期純損失を計画しております。

半期毎の業績推移(連結)

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI



18

当上期から操業を開始する不二精機インドネシアで大幅な創業赤字が発生しますが、金型事業の徹底した原価低減活動などにより、連結ベースでの営業利益率改善を目指します。

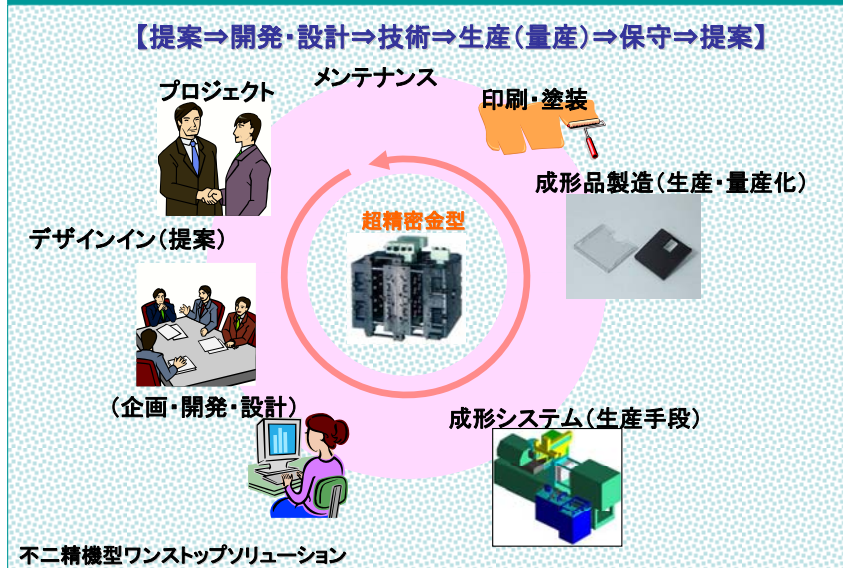
中期事業戦略

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

19

中期事業戦略についてご説明いたします。

“プラスチック精密成形総合システム会社”として、
不二精機型ワンストップソリューションを 今後もさらに展開する

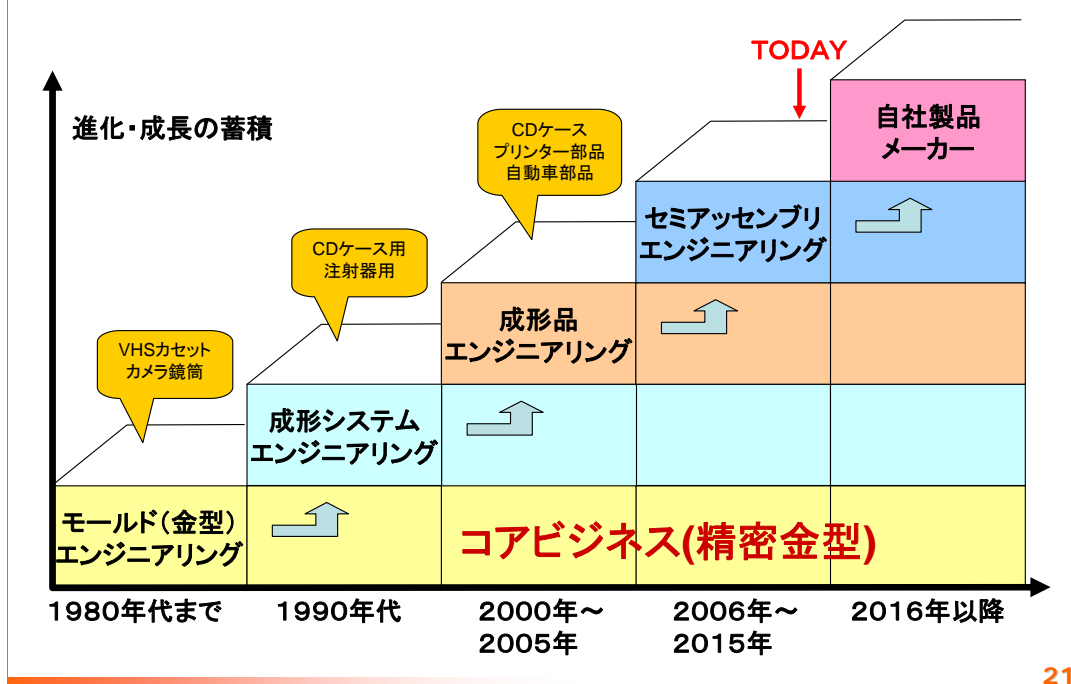


当社グループの総力で、金型の製作だけでなく、製品の企画段階より製品での納品まで(ワンストップソリューション)、精密金型技術をコア技術として、顧客のニーズに最適なものづくりを提案いたします。

もちろん、上図それぞれのステップ(金型製作のみ、成形品製造のみ等)単位でのご相談もお受けしております。

不二精機の歩みと今後

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI



1955年の創業以来、「精密小物向け金型では、他社に負けない」を合言葉に、着々と顧客のご支援を頂きながら成長してまいりました。

1984年頃には、金型から生み出される成形品そのものの精密さが必要とされる商品向けの精密金型に加え、成形品1個当たりのコストが重視される大量生産品向けの金型にも当社の精密金型を必要とされることから、大量生産品向けマーケットへ進出しました。

1990年代より、単に金型単体での販売だけでなく、顧客が求める成形品を生産するために必要な生産設備(成形機、取出し機、自動組立機等)も併せての販売を開始しております。

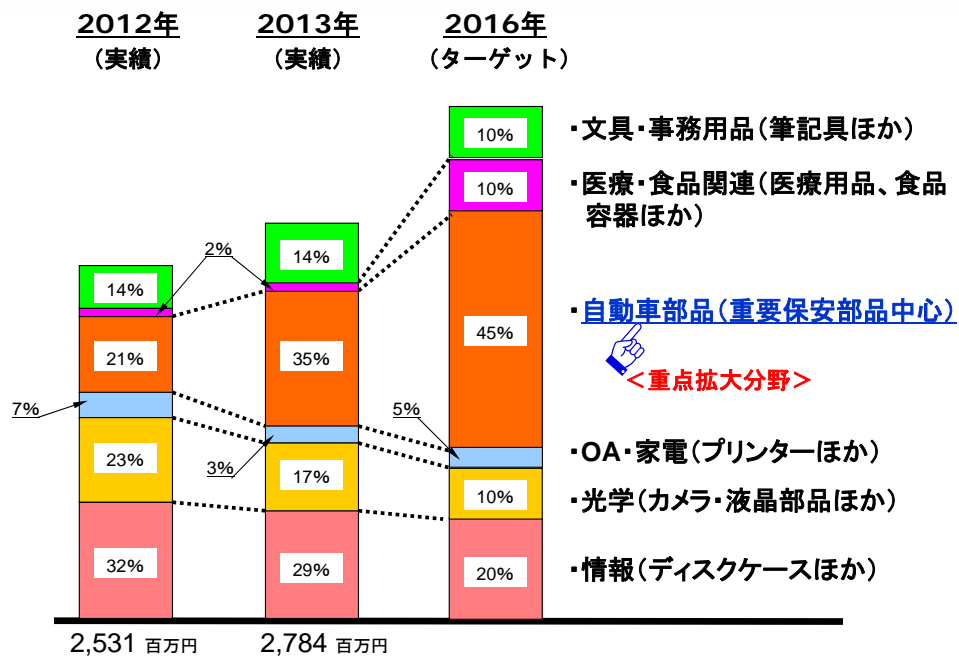
2000年からは精密金型をコアとし、タイ、中国にある当社海外グループ会社等において成形品製造・販売を主体としたビジネスを展開しております。

2006年以降は、成形品の販売のみならず、成形品への印刷・塗装及びセミアッセンブリにも事業を拡大しております。

2016年以降には、当社の強みである精密金型技術を活かした自社製品メーカーを目指しております。

成形品売上<分野別ターゲット>

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI



22

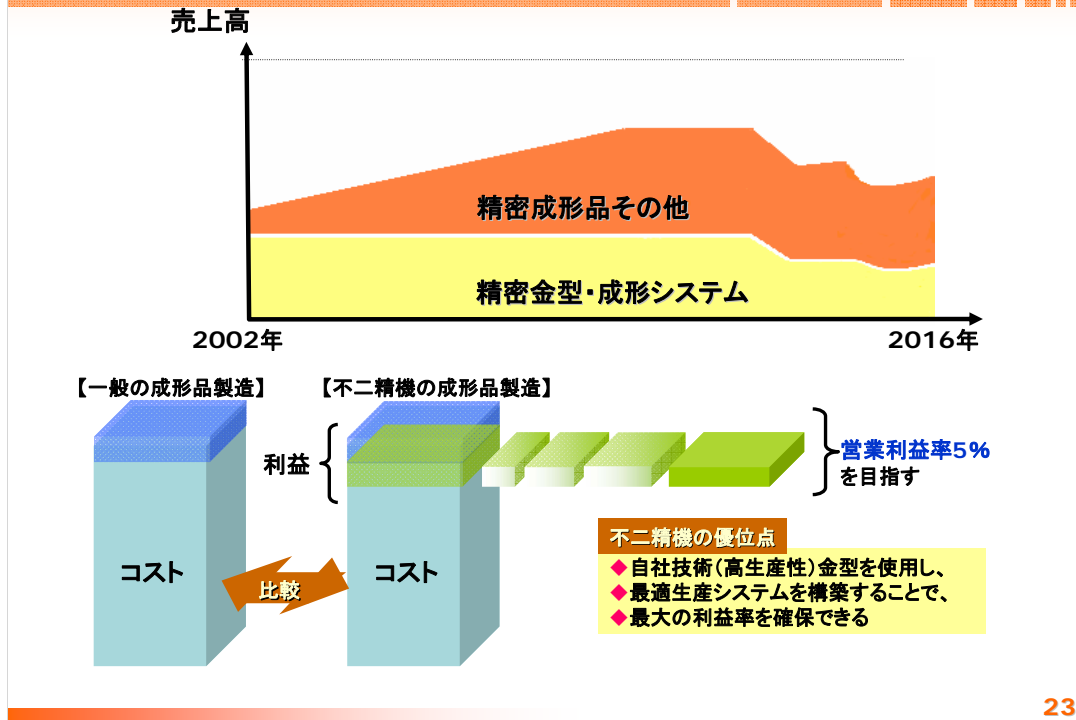
成形品売上の中で、付加価値率の低いディスクケース製品及び市場が縮小方向にあるデジタルカメラほかの光学分野の減少を計画しております。

受注の波が少ない自動車部品、医療用品、食品容器の分野の拡大に集中し、利益率向上の課題である年間平均稼働率を高めることにより、利益率の改善および利益額の確保を目指します。

当事業の拡大には、当社グループの強みである高生産性金型技術および品質管理の整備された成形品量産体制を戦略的に活用いたします。

中期的展望

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI



2008年から2009年にかけて精密金型事業、精密成形品事業ともに世界同時不況により、2011年から2012年は東日本大震災およびタイの洪水の影響を受け減収となりました。

精密成形品事業では、安定稼動と利益率の向上を目指し、自動車部品、医療用品、食品容器などの分野の拡大を推進いたします。

精密金型事業においては、強みのある医療機器、食品容器ほかの金型販売および精密成形品事業の受注拡大につながる金型製造に注力いたします。併せて、さらなるコスト構造の改革により製造原価の低減を進め、当事業の利益率の改善を目指します。

以上の活動により、営業利益率5%の達成を中期目標としております。

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI



お問合せ先

管理本部
TEL:06-4306-6822

24

ありがとうございました。